

【 第24回 世界学生選手権大会（女子） 】

2018年7月30日～5日

開催国：クロアチア・都市：リエカ

試合結果報告 8月3日（金）

JPN(日本)	VS	BRA(ブラジル)
11	前半	14
13	後半	15
	第一延長	
	第二延長	
24	合計	29

個人得点

No.	名前	得点
1	馬場 敦子	
3	北原 佑美	2
4	木村 有沙	2
5	近藤 万春	5
6	佐原 奈生子	1
7	谷 華花	1
10	永塚 梓	2
11	服部 沙紀	3
12	犀藤 菜穂	
13	初見 美椰子	2
15	堀川 真奈	1
17	松本 ひかる	3
35	中山 佳穂	1
39	笠井 千香子	1
	合計	24

戦評

予選リーグ最終戦、日本は現在2勝、対するブラジルは1勝1分け、勝利した方がグループ1位通過となる大事な一戦。日本はLW松本、LB北原、CB谷、RB中山、RW服部、PV近藤、GK馬場の布陣で臨んだ。立ち上がり日本が近藤の速攻で先攻する。対するブラジルもNo.9がカットインを決めすぐに追いつく。20分までは日本が常にリードする展開であったが、シュートミスから同点に追いつかれると、ブラジルNo.4の連続得点から一気に3点差に広げられる。日本は前半で11-14の3点差のビハインドで折り返した。

後半はブラジルNo.9のカットインで始まる。取り返そうとする日本は、サイドシュートを連続で相手GKにセーブされる。ブラジルは後半も大型PVにボールを集めて得点を重ねる。逆に日本は中山、北原のバックプレーヤー陣がディスタンスを狙うが、ブラジル中央DFの大きな壁にシャットアウトされる。それでも日本は中盤、疲れの出てきたブラジルに対してDFから木村、堀川らの速攻で1点差まで詰め寄る。しかし、ここ一本で相手のPVに押し込まれてしまう。最後はPVに対してDFを厚くした所を連続のディスタンスを決められて万事休す。24-29での痛い敗戦となった。

しかし日本は、グループリーグを2位で通過することができたため、明日の準決勝に進出、メダル獲得の可能性を残すこととなった。準決勝はグループB全勝の韓国との対決、全力で勝ちにいきたい。

報告記入者：

齊藤 慎太郎